



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アールシーコア

コード番号 7837 URL <https://www.rccore.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二木 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務責任者 (氏名) 河村 隆之 TEL 03-5790-6500

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,118	△19.0	△473	—	△484	—	△487	—
2022年3月期第1四半期	3,848	22.8	△89	—	△99	—	△17	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △482百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △18百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△115.65	—
2022年3月期第1四半期	△4.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	10,999	1,711	15.6	405.83
2022年3月期	12,021	2,192	18.2	520.09

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,711百万円 2022年3月期 2,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	0.00	15.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,700	14.4	260	—	180	—	110	—	26.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	4,536,400株	2022年3月期	4,536,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	319,720株	2022年3月期	320,320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	4,216,159株	2022年3月期1Q	4,183,280株

（注）期末自己株式数には、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式（2023年3月期1Q 319,538株）が含まれております。また、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期1Q 320,059株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象など .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
3. 補足情報 .....	9
生産・受注及び販売の実績 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きが続きました。しかしながら、ウクライナ紛争による先行きの不透明感がみられ、原材料価格の上昇や供給面での制約、円安、金融資本市場の変動等による景気の下振れリスクに注視が必要な状況が継続しています。

この様な状況の下、当社グループでは、LOGWAY（展示場）における体感型単独展示場や、BESSユーザーの有志によるLOGWAYコーチャーに実際の暮らしの相談ができる定例のイベント（LOGWAYコーチャーDAY）による集客活動に取り組みましたが、LOGWAYへの新規来場数は前年同月比81.9%に留まりました。

一方、前年度より当社収益を圧迫しておりますウッドショックによる資材価格高騰につきましては、原材料価格の変動を柔軟に販売価格に反映させる方法を導入し、収益力の回復に取り組んでおります。

更に、本年7月に新たな商品シリーズとして、小屋と平屋とログの3つをかけあわせた独自の 카테고리であるBESSの平小屋「栖（すみか）ログ」を発売致しました。当社は長引くコロナ禍によって変容した生活様式を敏感に捉え、新たな暮らし方の提案を発信し集客活動を強化してまいります。

こうした状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は3,118百万円と前年同期比19.0%の減少となりました。また、連結営業損益については473百万円（前年同期は89百万円の損失）の損失となりました。以下、連結経常損失が484百万円（同99百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失が487百万円（同17百万円の損失）となっております。

連結契約（受注）高においては、1,828百万円（前年同期比39.8%減）、期末契約（受注）残高は10,946百万円となりました。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

#### 直販部門

連結売上高の31.1%（外部顧客売上高ベース）を占める直販部門は、東京都・代官山の「BESS MAGMA」、東京都・昭島の「BESS多摩」及び神奈川県「BESS藤沢」の直営3拠点で、東京・神奈川圏を中心とする顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は970百万円（前年同期比20.5%減）となり、セグメント損失は11百万円（同109百万円減）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は710百万円（同25.3%減）となりました。

#### 販社部門

連結売上高の34.4%を占める販社部門は、全国の地区販社に対して、BESSブランドと販売システム等を提供するとともに、BESS企画型住宅の部材キット等を供給する事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、1,471百万円（同13.7%減）となり、セグメント損益は172百万円（同287百万円減）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は804百万円（同1.5%増）となりました。

#### B P社

連結売上高の34.5%を占める国内連結子会社グループのB P社は、株式会社BESSパートナーズが運営する千秋（秋田県）、金沢（石川県）、熊谷（埼玉県）、水戸、つくば（茨城県）、富士、浜松（静岡県）、東愛知（愛知県）、糸島（福岡県）、熊本（熊本県）に加え、その連結子会社である株式会社BESS札幌が運営する札幌（北海道）、同じく株式会社BESS岐阜が運営する岐阜（岐阜県）の合計12拠点のBESS LOGWAYによるグループであり、顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、1,151百万円（同22.4%減）となり、セグメント損失は66百万円（同111百万円減）となりました。セグメント契約（受注）高は、313百万円（同75.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比で1,021百万円減少の10,999百万円、負債は同540百万円減少の9,288百万円、純資産は同481百万円減少の1,711百万円となりました。それぞれの主な増減要因につきましては、次の通りであります。

総資産につきましては、「現金及び預金」が819百万円、「売掛金及び完成工事未収入金」が307百万円減少したこと等によります。

負債につきましては、「短期借入金」が400百万円増加した一方、「買掛金及び工事未払金」が680百万円、「長期借入金」が210百万円減少したこと等によります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する当期純損失487百万円を計上したこと等によります。その結果、自己資本比率は15.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表した数値に変更はありません。

（4）継続企業の前提に関する重要事象など

当社は、複数の金融機関との間でシンジケーション方式による金銭消費貸借契約を締結しておりますが、本契約には一定の財務制限条項が付されており、前連結会計年度末の財政状態は当該条項に抵触しております。

しかしながら、本契約に係る各金融機関より当該条項に係る期限の利益喪失についての権利を行使しない旨の合意を得ていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,129,140	2,309,462
売掛金及び完成工事未収入金	1,499,711	1,192,631
リース債権	18,522	17,598
商品	453,856	480,493
貯蔵品	177,463	188,781
仕掛販売用不動産	729,660	811,190
未成工事支出金	116,967	132,127
その他	203,432	254,891
貸倒引当金	△102,736	△139,283
流動資産合計	6,226,016	5,247,893
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,210,600	3,210,600
その他	2,844,296	2,878,917
減価償却累計額	△1,401,846	△1,463,083
その他（純額）	1,442,449	1,415,834
有形固定資産合計	4,653,050	4,626,435
無形固定資産		
その他	178,281	159,958
無形固定資産合計	178,281	159,958
投資その他の資産		
関係会社株式	20,000	20,000
繰延税金資産	171,466	169,669
その他	788,604	791,402
貸倒引当金	△15,903	△15,787
投資その他の資産合計	964,167	965,283
固定資産合計	5,795,500	5,751,677
資産合計	12,021,516	10,999,570

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	1,984,338	1,304,324
短期借入金	1,800,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	846,257	845,457
未払法人税等	49,499	7,797
前受金及び未成工事受入金	808,633	949,176
契約負債	160,302	145,676
賞与引当金	53,721	105,176
工事損失引当金	34	—
点検費用引当金	60,849	52,687
その他	551,442	380,862
流動負債合計	6,315,079	5,991,157
固定負債		
長期借入金	2,305,480	2,094,715
契約負債	133,673	140,012
退職給付に係る負債	82,518	76,421
株式給付引当金	40,433	41,409
役員株式給付引当金	126,715	134,224
資産除去債務	242,134	242,465
その他	582,727	567,907
固定負債合計	3,513,682	3,297,156
負債合計	9,828,762	9,288,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,858	671,858
資本剰余金	730,399	730,399
利益剰余金	1,119,796	632,189
自己株式	△347,661	△347,013
株主資本合計	2,174,392	1,687,433
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	18,361	23,822
その他の包括利益累計額合計	18,361	23,822
純資産合計	2,192,754	1,711,255
負債純資産合計	12,021,516	10,999,570

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,848,190	3,118,905
売上原価	2,761,456	2,495,622
売上総利益	1,086,733	623,282
販売費及び一般管理費	1,175,824	1,096,611
営業損失(△)	△89,090	△473,329
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,263	822
販売協力金	1,247	1,117
保険解約返戻金	2,361	490
移転補償金	—	4,045
その他	1,448	2,156
営業外収益合計	6,320	8,631
営業外費用		
支払利息	15,181	10,892
支払手数料	—	8,483
その他	1,974	138
営業外費用合計	17,155	19,514
経常損失(△)	△99,925	△484,212
特別利益		
固定資産売却益	16,903	—
特別利益合計	16,903	—
特別損失		
固定資産除却損	306	—
特別損失合計	306	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△83,328	△484,212
法人税等	△66,065	3,395
四半期純損失(△)	△17,262	△487,607
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,262	△487,607



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△17,262	△487,607
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△882	5,460
その他の包括利益合計	△882	5,460
四半期包括利益	△18,145	△482,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,145	△482,146

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	B P社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,221,060	1,156,662	1,470,466	3,848,190	—	3,848,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	703	547,608	12,221	560,533	△560,533	—
計	1,221,764	1,704,271	1,482,688	4,408,723	△560,533	3,848,190
セグメント利益又は損失 (△)	98,524	115,170	44,506	258,201	△347,292	△89,090

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去△9,058千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,234千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	B P社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	970,114	1,073,565	1,075,224	3,118,905	—	3,118,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	619	397,759	75,932	474,312	△474,312	—
計	970,734	1,471,325	1,151,157	3,593,217	△474,312	3,118,905
セグメント利益又は損失 (△)	△11,143	△172,526	△66,679	△250,349	△222,979	△473,329

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去68,401千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,381千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 生産・受注及び販売の実績

## ① 生産実績

当社グループが営む事業では、生産実績を定義することが困難であるため、記載しておりません。

## ② 受注実績及び販売実績

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

セグメント 区分	品目名称	前連結会計 年度繰越高 (千円)	当第1四半 期連結累計 期間契約高 (千円)	計 (千円)	当第1四半 期連結累計 期間販売高 (千円)	次期繰越高		当第1四半 期連結累計 期間施工高 (千円)
						契約残高 (千円)	うち施工高 (千円)	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	69,829	30,694	100,524	45,436	55,088	—	—
	ログハウス等工事	4,980,976	910,903	5,891,879	1,127,280	4,764,599	147,143	1,107,898
	その他	—	8,870	8,870	48,343	—	—	—
	(小計)	5,050,805	950,468	6,001,274	1,221,060	4,819,687	147,143	1,107,898
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	2,690,063	792,408	3,482,471	1,019,593	2,462,877	—	—
	その他	—	—	—	137,068	—	—	—
	(小計)	2,690,063	792,408	3,482,471	1,156,662	2,462,877	—	—
B P 社	ログハウス等 部材キット販売	—	14,245	14,245	14,245	—	—	—
	ログハウス等工事	4,908,912	1,282,008	6,190,920	1,453,950	4,736,969	18,131	1,458,568
	その他	—	—	—	2,270	—	—	—
	(小計)	4,908,912	1,296,254	6,205,166	1,470,466	4,736,969	18,131	1,458,568
合計	12,649,781	3,039,130	15,688,912	3,848,190	12,019,534	165,274	2,566,467	

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高＋次期繰越施工高－前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。
- 5 2020年度から供給部材のサプライチェーンマネジメントの見直しの一環として呼称を部材パッケージから部材キットと改めております。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

セグメント 区分	品目名称	前連結会計 年度繰越高 (千円)	当第1四半 期連結累計 期間契約高 (千円)	計 (千円)	当第1四半 期連結累計 期間販売高 (千円)	次期繰越高		当第1四半 期連結累計 期間施工高 (千円)
						契約残高 (千円)	うち施工高 (千円)	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	171,439	27,809	199,249	25,362	44,487	—	—
	ログハウス等工事	4,425,143	675,189	5,100,333	897,050	4,332,683	141,064	921,559
	その他	460	7,285	7,745	47,702	—	—	—
	(小計)	4,597,043	710,284	5,307,327	970,114	4,377,170	141,064	921,559
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	2,570,911	804,623	3,375,534	1,019,446	2,356,088	—	—
	その他	—	—	—	54,119	—	—	—
	(小計)	2,570,911	804,623	3,375,534	1,073,565	2,356,088	—	—
B P社	ログハウス等 部材キット販売	15,182	6,585	21,767	15,695	6,072	—	—
	ログハウス等工事	4,956,145	307,350	5,263,495	1,056,646	4,206,848	32,206	1,057,973
	その他	—	—	—	2,883	—	—	—
	(小計)	4,971,327	313,935	5,285,263	1,075,224	4,212,921	32,206	1,057,973
合計	12,139,282	1,828,843	13,968,124	3,118,905	10,946,180	173,270	1,979,532	

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高+次期繰越施工高-前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。